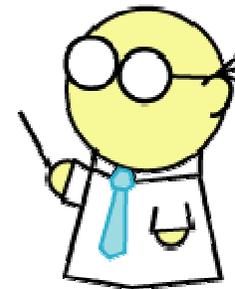


「アジアとの協力戦略」:コメント

一橋大学・浅沼信爾
「日本のODAを変える会」
2010年6月8日



1. 発展と開発の政策課題

- 援助論、ODA論の危うさ
 - 理念、動機、国益・国際益
 - 「神学論争」の一時停止
 - 「呉越同船」の考え方
- 発展と開発の政策課題
 - 支援・援助・協力の可能性はそこから出てくる
 - そしてドナー側の動機付け、キャパシティー、体制を考慮する

2. アジアの開発課題(1)

- 移行期・転換期にあるアジア
 - ① 持続的な成長・雇用創出・貧困削減: 残された問題
 - ② 工業化の展開: 産業構造の高度化と国際競争力
 - ③ インフラ構築: 工業化と都市化、そしてグローバリゼーション
 - ④ 中産階級の誕生: 中所得化、中進国化、「開発国家」から「福祉国家」的な要素。公共部門の制度改革、制度造り(健保、年金、教育)

3. アジアの開発課題(2)

- 移行期・転換期にあるアジア(続)
 - ⑤成長過程における格差問題:生活保護制度等のセーフティーネット、教育と農業
 - ⑥「アジアの巨人(中国、インド)との共棲」:経済統合の深化
 - ⑦地球環境問題:防災・防衛体制の構築、戦略とブループリント

4. 日本の支援・協力

- アジアに対する強い政策動機：国際政治的、経済的、人道的、地球益、「相互依存の世界での総合安全保障」
- スケールの大きな課題に対する戦略・政策次元での協働作業（コラボレーション）
- 「日本の経験と優位」を越えて：旧来のODA政策枠組みからの「フェンス・ブレイキング」